

平成31年度長久手市地域包括支援センター事業計画書(案)

1 基本情報

センター名称	長久手市社会福祉協議会地域包括支援センター
担当地区	長久手小・東小・北小学校区
運営法人名称	社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会

2 平成31年度重点取組項目に対する具体的取組事業

重点取組項目	事業目標(スローガン)	具体的な取り組み
個別地域ケア会議の推進	<p>多職種連携による個別のケア支援と地域課題抽出のため、個別地域ケア会議(学習会)を定期的に行う。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1.個別地域ケア会議(学習会)を、年12回開催する。</p> <p>2.個別地域ケア会議(学習会)で抽出された地域課題を半期毎に取りまとめ、分析を行う。</p>	<p>1.毎月、個別地域ケア会議(学習会)の振り返りを行い、地域課題の抽出・取りまとめ・分析を行う。</p> <p>2.課題解決に向け、取り組める内容について関係機関を含め検討する。</p> <p>3.個別地域ケア会議(学習会)に、医療・介護・福祉専門職以外の地域支援者に参加してもらう。</p> <p>4.電子連絡帳を活用し、事例に対するアドバイスをもたらえる仕組みを作る</p> <p>5.研修への参加等により、会議の司会進行やファシリテートについて学ぶ。</p> <p>6.個別地域ケア会議(学習会)後に情報交換の場を設け、顔の見える関係作りを行う。</p>
総合事業の推進	<p>総合事業の受け皿となる社会資源を、さがす・つなぐ・支える。</p> <p>【数値目標】</p> <p>月に1人、サロン等の集いの場や一般介護予防事業につなげる。</p>	<p>1.地区社協及び生活支援コーディネーター等と情報共有を行い、地域の状況把握を行う。</p> <p>2.高齢者の居場所となる高齢者向けのサロンや集いの場に出向き、市民のニーズ把握を行うと共に、運営の支援を行う。</p> <p>3.総合事業・一般介護予防事業の対象者把握に努め、適切なサービスや社会資源につなげる。</p> <p>4.いきいき事業連絡会(仮)に参加し、総合事業の内容改善や創出について検討する。</p>
円滑な情報収集・発信の推進	<p>地域住民にとって身近で気軽に相談できるセンターを目指す</p> <p>【数値目標】</p> <p>1.担当小学校区内にある20か所の医療機関・薬局等に地域包括支援センターのチラシを設置してもらう。</p> <p>2.啓発活動を含めた出張相談・出前講座を年40回実施する。</p>	<p>1.担当地区において、出張相談や出前講座を行い、情報収集及び周知活動を行う。</p> <p>2.市民が集まる(通う)場である医療機関や、薬局、定例民生委員児童委員協議会、地区社協、喫茶店、高齢者生涯学習講座などでの啓発活動。</p> <p>3.担当圏域の地区社協の定例会で話し合われた地域課題が把握できるよう、CSWと連携する。</p> <p>4.新たな出張相談の場所を開拓する。</p>

平成31年度長久手市地域包括支援センター事業計画書(案)

1 基本情報

センター名称	愛知たいようの杜地域包括支援センター
担当地区	西小・南小・市が洞小学校区
運営法人名称	社会福祉法人 愛知たいようの杜

2 平成31年度重点取組項目に対する具体的取組事業

重点取組項目	事業目標(スローガン)	具体的な取り組み
地域ケア会議の推進	<p>多職種協働による個別事例の検討を行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1、個別地域ケア会議(学習会)を年12回開催する。 2、個別地域ケア会議で抽出された地域課題を半期毎に取りまとめ・分析を行う。</p>	<p>1.毎月、個別地域ケア会議(学習会)の振り返りを行いながら、地域課題の抽出・取りまとめ・分析を行う。</p> <p>2.課題解決に向け、取り組める内容について関係機関を含め検討する。</p> <p>3.個別地域ケア会議(学習会)に医療・介護・福祉専門職以外の地域支援者に参加してもらう。</p> <p>4.電子連絡帳等を活用し、事例に対するアドバイスをもらえる仕組みを作る。</p> <p>5.研修への参加等により、会議の司会進行やファシリテートについて学ぶ。</p> <p>6.個別地域ケア会議(学習会)後に情報交換の場を設け、顔の見える関係作りを行う。</p>
総合事業の推進	<p>支援が必要な市民の情報を直接的・間接的に取得し、適切なサービスにつなぐとともに、把握した市民のニーズを収集・分析し、サービスの改善や創出を支援する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1、にこにこ会を年12回開催する。 2、いきいきサロンを全箇所1回訪問する。</p>	<p>1.地区社協・生活支援コーディネーター等との連携強化を図るため、定期的な会議(にこにこ会)を継続し、情報共有及び活動状況を話し合う。</p> <p>2.民生委員、まちづくり協議会、地区社協等と連携し、ネットワークの構築に努め、介護予防を推進する。</p> <p>3.総合事業・一般介護予防事業の対象者把握に努め、適切なサービスや社会資源につなげる。</p> <p>4.いきいき事業連絡会(仮)に参加し、総合事業の内容改善や創出について検討する。</p>
円滑な情報収集・発信の推進	<p>出張相談や広報活動等を通じて、地域の多様な主体とネットワークを構築しつつ、センターの役割を理解してもらい適切な連携のあり方の仕組みづくりを進める。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1、啓発活動を含めた出張相談・出前講座を年40回実施する。 2、薬局・金融機関・スーパー・コンビニ等の民間企業を訪問する。(10ヶ所)</p>	<p>1.担当地区において、出張相談や出前講座等を行い、情報収集及び周知活動を行う。</p> <p>2.担当地区の主な民間企業に出向き、顔の見える関係づくりに努める。(周知活動、情報交換等)</p> <p>3.高齢者の困りごとがあれば情報提供してもらえる協力者を増やす。</p> <p>4.新たな出張相談の場所を開拓する。</p>